

この紙のゴール：初めて読む英文から、大意と必要な情報を制限時間内につかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

Take a sheet of paper and tear it. The tear goes where it likes. Now fold the paper, press the fold hard, and tear again. This time it comes apart along the line.

Paper is made of very small fibres pressed together. They point in many directions, and they hold on to each other. That is why a flat sheet is hard to tear.

When you fold the paper, the fibres on the outside of the fold are stretched, and some break. The damage is not spread over the sheet. It sits in a thin line, and a tear now has a place to start.

Factories use the same idea on purpose. The small holes along a ticket are called a perforation, and they do the folding for you. The paper is already weak in one line, so it comes apart there.

So when something breaks in a straight line, do not ask why it was weak. Ask where it was damaged first.

〔語注〕 tear=破る・裂ける fibres=繊維 stretch=引きのばす perforation=ミシン目

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

(1) この文章がいちばん伝えたいことは？ **思考・判断・表現** 答え（ ） 3点

- ア 紙は一度折ると全体が弱くなってしまう
- イ 折り目に沿って切れるのは、傷が一本の線に集まるからだ
- ウ ミシン目のある紙はやぶれやすいので、持ち歩くのに不便だ
- エ 紙の繊維は一つの方にそろっている

(2) 平らな紙が破りにくいのはなぜか。 **知識・技能** 答え（ ） 3点

- ア 紙の表面がとてもなめらかで、指がスべるから
- イ 紙がわずかに水を含んでいて、繊維どうしがしめってくっついているから
- ウ 繊維がいろいろな向きを向いて、たがいをつかんでいるから
- エ どの部分も同じ厚みになるようそろえてあるから

(3) ミシン目について、本文が述べていることは？ **知識・技能** 答え（ ） 3点

- ア 紙を丈夫にして、途中でやぶれてしまわないように作られている
- イ 手で切ろうとすると必ず失敗してしまう
- ウ 工場の機械でしか切ることができない
- エ 折らなくても切れるように、折る仕事を先にやってある

(4) 筆者が最後にすすめている問い方は？ **思考・判断・表現** 答え（ ） 3点

- ア 材料がなぜ弱かったのかを問う
- イ だれが最初に折ったのかを問う
- ウ どこが先に傷ついたのかを問う
- エ やぶるのにどれくらいの力が必要かを問う

紙は、折られた場所から切れる（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	イ	第3段落 The damage is not spread over the sheet. It sits in a thin line.
(2)	ウ	第2段落 They point in many directions, and they hold on to each other.
(3)	エ	第4段落 they do the folding for you / already weak in one line.
(4)	ウ	最終段落 Ask where it was damaged first。アは筆者が退けている問い。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

身近な現象から「壊れ方には順序がある」という一般化まで運ぶ英文です。第2～3段落が**仕組みの説明**、第4段落が**その仕組みを利用した例**という構成なので、「説明」と「応用」を読み分けられているかを明示情報の2問で測れます。手元に紙が1枚あれば教室でその場で試せるので、読む前に1回折らせておくと、初見でも入り方が変わります。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	概要把握。「弱くなる」ではなく「傷が集まる」を選ぶか
(2)	明示情報	知識・技能	仕組みの説明の読み取り。繊維に何が起きるか
(3)	明示情報	知識・技能	仕組みを利用した例（ミシン目）の読み取り
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落から「読者にできること」を選ぶ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

